

## 年頭訓示

# 喫緊の課題は「人手不足対策」と「現場力の強化」 新たにAI清掃ロボットを活用した 清掃サービスパッケージを展開

グローブシップ(株) 代表取締役社長 矢口 敏和



明けましておめでとうございます。

世界経済の状況は、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題(ブレグジット)等、いくつかの懸念材料があり、不透明感を強めています。しかし我が国では、数兆円の経済波及効果が期待されるオリンピックが開催される記念すべき年であり、また東京都心部をはじめ主要都市の空室率も底堅いオフィス需要に支えられ、1〜2%という低水準で推移しております。少なくとも当業界にとっては、我々を

取り巻く環境は決して悪くなく、我々の働き次第によっては明るい未来が拓ける年と言えます。今年当社は、第2期中期経営計画の2年目を迎えました。テーマごとに組成された六つの部会が中心となって計画を推進していますが、それぞれが予定通りの成果を挙げ、まずまずの走りとなりました。下期も緊張感を持って、より一層の奮起をお願いいたします。

当業界だけではありませんが、人手不足が、企業の大きな課題の一つになっており、当社も例外ではありません。このため、ミヤンマーからの技能実習生の受け入れ、業務のRPAなどのシステム化、清掃ロボットの導入等、色々な施策を計画的に進めています。大切なことは、こうした諸施策に加えて社

員一人ひとりが仕事の効率アップに取り組み、計画的に生産性を上げる努力が不可欠だということ。前述の諸施策に加えて、是非こうした努力を積み重ねていきたいと考えています。

特に清掃ロボットについては、メーカーであるソフトバンクロボティクス株式会社とユージーである当社が共同で、当社が管理している現場への導入を進めてきました。その結果、省力化につながる効果的な活用方法に一定の目的が立ったことから、昨年11月、当社は同社と協力してAI清掃ロボット「Whiz」をレンタルできる新しい清掃サービスパッケージ(ティーチング・チューニング・統合品質管理を含む)の提供を、当社を窓口として同業他社にも始める予定となりました。人間

とロボットとの協働作業によって人手不足に対応したいと思いません。そして清掃ロボット化のフロントランナーとしての地位を確保したいと考えています。

また「現場力の強化」も大変重要な課題です。日々の仕事を原点に立ち返つてもう一度見直し(棚卸し)、できるだけ長いスパン、時間軸で考えてみる。ことが重要だと思います。半期、一年、数年という長いスパンで物事を考える習慣を身に着け、常に長いスパンで考えながら仕事を進めることによって、結果的に効率アップにつながるものと思えます。

今年、令和も2年目となり、本格的な時代の幕開けとなります。「安全」を大前提にして、お客様にとって最適な快適環境を提供する戦略FMパートナーとして、社員一丸となって可能性に挑戦していきたいと考えています。



ご安全に!